

刃物の修理・メンテナンスは

# 刃物の病院



# グリーンパパ

## 末永く、アルス製品をご使用いただけますように…

アルス製品の故障や、研ぎ直し、部品紛失などのトラブルや廃棄、またメンテナンスのご相談は「刃物の病院グリーンパパ」修理サービスまで、お気軽にご相談ください。

## 修理・研ぎ直しの流れ

### 1 お問い合わせ

まずはフリーコールまたはメールにて弊社まで修理・研ぎ直しについてお問い合わせください。  
お問い合わせいただきましたら、弊社スタッフから折り返しご連絡いたします。

【フリーコール】

**0120-833202**

月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00  
(祭日および当社休日を除く)

【メール】

**info@ars-edge.co.jp**

お客様のお名前、ご連絡先と、商品の品番と使用状況(使用頻度や主な切断物など)、購入時期と購入店舗をお知らせください。

### 2 修理品の発送

商品を梱包の上、右記まで商品をお送りください。  
※梱包の際は刃などでケガをしないよう十分ご注意ください。  
※送料は片道分がお客様負担となります。予めご了承ください。

送料元払いにて お送りいただいた場合
返送時の送料は 弊社が負担いたします。

送料着払いにて お送りいただいた場合
お見積りに送料分を 加算させていただきます。

【商品送り先】

〒599-8267

大阪府堺市中区八田寺町476-3  
アルスコオペレーション株式会社  
GPメンテナンス係宛  
TEL : 072-260-2121

### 3 診断・お見積り

届きましたお客様の商品を刃物の病院にて診断し、代金のお見積りをご連絡いたします。  
※電話、FAX、メールのいずれかにてご連絡いたします。ご都合の良い連絡手段があればご指定ください。

### 4 修理・研ぎ直し

お見積りをご確認いただき内容に同意いただけましたら、お客様の商品を刃物ドクター(グリーンパパ)が適切な修理・研ぎ直し致します。

### 5 修理済品の返送

修理・研ぎ直しが完了した商品をお客様のもとへ返送致します。  
※商品によってはメール便にて返送させていただく場合がございます。予めご了承ください。

### 6 料金のお支払い

ご請求の修理・研ぎ直し料金をお支払いください。

合計金額が  
2,000円以上

代金引換となります。  
お届けする運送便の配達員に  
料金をお支払いください。

合計金額が  
2,000円未満

郵便振替となります。  
商品に同封の郵便振替用紙にて  
料金をお支払いください。

※商品到着後  
2週間以内

## 研ぎ直し代金参考価格表

商品	参考価格(税別)
クラフトチョコキ(330H)	¥600～
アルスヌーボー(3000)	¥700～
ミニチョコキ(130DX)、ファミリー(140DX)	¥1,000～
フランバン(FL)	¥1,000～

商品	参考価格(税別)
剪定鋏(120S、Vシリーズなど)	¥1,300～
植木鋏(U-600、U-600L)	¥1,300～
料理人鋏(5000)	¥1,000～
刈込鋏(K-800、K-900、K-900Z、K-950Z)	¥1,500～

※代金は参考価格です。刃や本体の状態により価格は異なります。

※摩耗量の激しい商品、大きな欠けのある商品は研ぎ直しが出来ない場合がございます。予めご了承ください。

**保管する**

**① 汚れを落とす**

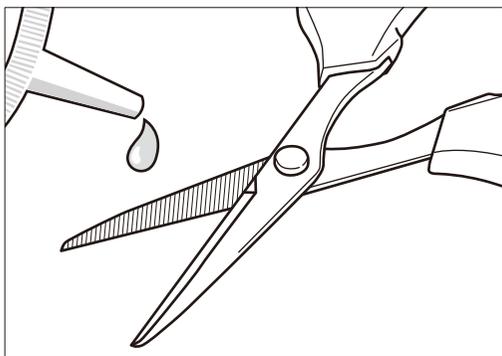
まずは汚れを落とします。付いてすぐの樹液（ヤニ・シブ）汚れは水でも落とせますが、少し時間がたった汚れは、80℃くらいのお湯につけて歯ブラシなどで落としていただくのが効果的です。

※別売りの「刃物クリーナー（GO-1、GO-3）」をご使用いただくと、さらに簡単に樹液が落とせます。

**⚠ 注意**

※刃先に直接触れるとケガをします。特に刃部（はさみ）が重なる部分に手を入れないでください。

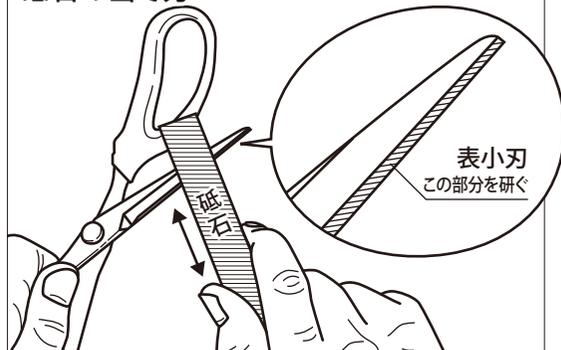
**② 油を差す**



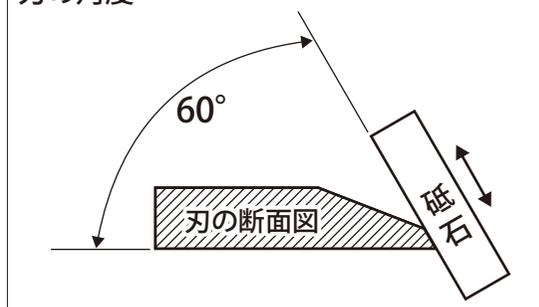
水気をとった後、刃に防錆油（機械油、ミシン油など）を薄く塗り、乾燥した場所でお子さまの手の届かないよう注意して保管してください。

**研ぎ直す**

**砥石の当て方**



**刃の角度**



表小刃（イラスト参照）をダイヤモンド砥石（300～400番くらい）や一般的な砥石（150番くらい）で研いでいただくと切れ味が回復します。

※表小刃を油性マジックで塗ると、研ぎ直す部分がわかりやすくなります。

※研ぎ終わったら、最初はやわらかいもの（力のかからないもの）で慣らし切りをしてください。

研いですぐに力のかかるものを切ると、刃が乗り上げてしまうことがあります。力のかからない作業をすることで、刃のすり合わせが馴染みます。

※刃と刃がこすれ合う面は研がないでください。

